

# 元気がわら版

庄原市杜協だより4月号【Vol.108】

## 「地域の支えあいづくりを考える集い」開催!!

口和地域 3月1日(土)



庄原市役所口和支所  
(前)支所長  
清水 孝清氏



口和自治振興区  
区 長  
山岡 芳晴氏

比和地域 3月15日(土)



庄原市役所比和支所  
(前)支所長  
岸 達三氏



比和自治振興区  
区 長  
近藤 國與氏

少子高齢化や人つながりが薄れつつある中で、この事業をとおして自分にできること、地域でできることなど、考えるきっかけになったと思います。引き続き、住み慣れた地域で安心して心豊かに暮らせるように、おたがいさまの気持ちで、地域づくり、まちづくりを共に考え、取り組んでいきましょう。



目次

P1・・・口和・比和地域の支えあいを考える集い  
P2・・・会長あいさつ・役員・評議員体制  
P3・・・平成26年度事業計画・平成26年度予算  
P4・・・口和地域の支えあいを考える集い  
P5・・・比和地域の支えあいを考える集い  
P6・・・ボランティアセンターとは？

P7・・・平成25年度外出支援おでかけ応援隊協力寄付金  
P8・・・元気報告 庄原・西城・東城・口和  
P9・・・元気報告 高野・比和・総領・  
P10・・・よろず相談・協力寄付・義援金  
P11・・・寄付金  
P12・・・地域のものがたり(庄原)・広告

## 「役員・評議員体制」

平成26年4月1日現在の  
役員、評議員体制

執行機関である理事会、議決機関である評議員会、運営全般を監査する監事会をもって、平成26年度の社協活動を推進して参ります。

本年度もご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

### 理事 13名

|     |        |             |
|-----|--------|-------------|
| 会長  | 山内 文雄  | (学識経験者・宮内町) |
| 副会長 | 竹島 靖明  | (地域代表・西城町)  |
| 副会長 | 田邊 恒治  | (地域代表・東城町)  |
| 副会長 | 秋山 義治  | (地域代表・総領町)  |
|     | 藤谷 善久  | (地域代表・板橋町)  |
|     | 住田 鉄也  | (福祉団体・川北町)  |
|     | 三上 一城  | (福祉団体・宮内町)  |
|     | 佐藤 浩子  | (福祉団体・東本町)  |
|     | 八谷 文策  | (福祉施設・川北町)  |
|     | 伊ノ木 健治 | (地域代表・東城町)  |
|     | 原 四朗   | (地域代表・口和町)  |
|     | 井上 清憲  | (地域代表・高野町)  |
|     | 奥田 順紀  | (地域代表・比和町)  |

### 監事 3名

|       |             |
|-------|-------------|
| 松村 修治 | (学識経験者・山内町) |
| 山本 伸昭 | (学識経験者・西城町) |
| 地子給高司 | (学識経験者・東城町) |

### 評議員 25名

|       |            |
|-------|------------|
| 中森 誠  | (福祉施設・高町)  |
| 藤田 和弘 | (福祉団体・平和町) |
| 竹本 健三 | (地域代表・本町)  |
| 森江 光明 | (地域代表・高町)  |
| 増田 省三 | (地域代表・上谷町) |
| 國本加代子 | (地域代表・春田町) |
| 渡辺 英則 | (地域代表・新庄町) |
| 東 泰治  | (地域代表・上原町) |
| 菟原 元樹 | (地域代表・山内町) |
| 桂藤 安夫 | (地域代表・川北町) |
| 紙川 光志 | (地域代表・西城町) |
| 織田みね子 | (地域代表・西城町) |
| 比原 一夫 | (地域代表・西城町) |
| 村上 聖子 | (地域代表・東城町) |
| 赤木 壽子 | (地域代表・東城町) |
| 高柴 和哲 | (地域代表・東城町) |
| 若林 元美 | (地域代表・東城町) |
| 三上 喜啓 | (地域代表・口和町) |
| 栗田 正暁 | (地域代表・口和町) |
| 加藤 寛  | (地域代表・高野町) |
| 草谷 末廣 | (地域代表・高野町) |
| 畑谷 美秀 | (地域代表・比和町) |
| 富田ひろ子 | (地域代表・比和町) |
| 横山 和則 | (地域代表・総領町) |
| 藤野富美代 | (地域代表・総領町) |

## 「家族力」、「地域力」の 向上のために！



庄原市社会福祉協議会

会長 山内 文雄

「終末期をどう迎えたいですか?」「延命措置を希望しますか?」最近このような問いかけを新聞、テレビや本などでよく見かけるようになりました。以前は自分には関係ないと思っていたこのような声が、最近身近な問題として感じつつあります。

誰にも必ずやってくる「人生の最後」を、私たちはどう考えているのでしょうか。日々の生活に追われ、ややもすると「うさぎよければ、自分さえよければ」という生き方をしているのではと思うことがあります。自分の将来を考え、死生観を考えるようになれば、もった今のそしてこれからの生き方が見えてくるのではないのでしょうか。

今、日本の社会保障制度は大きく変わるうとしています。医療や介護サービスの自己負担増、特養の入所基準の見直しなど社会保障の新しい仕組みづくりが始まっています。その中に「地域包括ケアの推進」というものがあります。

これは、高齢者の医療や介護を今までの「施設中心」から「在宅中心」へ切り替えていく、つまり高齢者の方々ができるだけ住み慣れた家庭や地域でいつまでも安心して暮らせるよう、医療、介護、生活支援などのサービスを家庭にしながら提供できる仕組みに切り替えていこうというものです。

今、私たちの庄原の現状はどうでしょうか。厳しい中山間地域にあり少子高齢化が進む中で、毎年700人弱の人口減少が続いています。子ども達は極端に減少し、一方で75歳を超える後期高齢者の一人暮らしの方が急激に増えています。これから医療や介護の制度が在宅へシフトする中で、私たちは家庭や地域で高齢者の方々を支えることができるのでしょうか? 私たちが将来年老いて支援が必要になった時に、家庭や地域で支えてもらうことが出来るのでしょうか?

＜「家庭や地域の受け皿づくり」がどうしても必要です。庄原に住んでいる私たちはもちろん、離れて暮らす子どもや孫たちも同じ家族として共に将来を考えることが必要ではないでしょうか? 地域で共に暮らす住民同士がお互いに助け合って暮らせる地域づくりを考えることが必要ではないのでしょうか。私たち社協も、行政や自治振興区をはじめとする地域団体の皆さんと連携して、家族や地域の絆をどのようにして強くするかを最重点課題として取り組んでいます。」「家族の力」「地域の力」を強くするためには、まず私たち一人ひとりが自分の家族や地域の将来のために今何をすべきかを考えて行動しなければなりません。そして、このような「福祉のまちづくり」を進めることにより、この庄原を子ども達に誇れる古里として、しっかりと次の世代へ引き継ぎたいものです。

## 庄原市社会福祉協議会

# 平成26年度事業計画

## 基本方針

「住み慣れた我が家や地域で、お互いが気に掛け合い支え合い、喜び、生きがい、役割を感じながら暮らせる、市民協働による福祉のまちづくりを進める」という法人理念のもと、次の基本方針を柱として各種事業を推進してまいります。

## 【基本方針】

- ①あらゆる場面で住民とつながる機会を増やし、「相談」を通じて関係機関等と連携協働し、各種事業や諸活動につなげていく。
- ②日常生活を支援する地域福祉・在宅福祉事業や介護事業等を通じて、「あんしん」につながる事業を推進する。
- ③地域組織や関係団体等との協働により、地域において役割や生きがいが発揮でき、お互い様による支え合いが溢れ、人がつながる「よるこび」を実感できる地域活動を推進する。

## 【重点項目】

\*主な事業を掲載

1. 地域・団体・行政との連携・協働による自助・共助のまちづくり活動の推進  
(おたがいさまネットワーク事業、地域包括ケア推進、次世代育成のための福祉教育など)
2. ボランティアセンターの運営強化  
(ボランティアの養成・登録・需給調整、災害ボランティア機能整備、各機関・団体との連携構築など)
3. 地域の生活課題の把握と生活支援体制づくり  
(相談体制の整備、各機関・団体とのネットワークの構築、生活困窮者支援・権利擁護事業など)
4. 地域社会資源の一つとしての高齢者介護福祉事業・障がい者支援事業の安定運営

## 【個別計画】

1. 法人運営事業
  - (1) 社協運営に係る諸会議  
理事会、評議員会、監事会、正副会長会議、管理職会議等の開催
2. 地域福祉事業
  - (1) よるこび相談365事業  
一般相談、法律相談、多重債務相談など
  - (2) サロン事業  
小地域サロン、生きがい創造型サロンなど、地域での集まりの場づくり、気にかける仲間づくり、社会貢献活動など
  - (3) ボランティアセンター運営事業  
ボランティアセンターの運営と活動支援、ボランティア講座の開催など
  - (4) 福祉出前講座事業  
学校や地域での体験学習、福祉活動の啓発など
  - (5) 広報事業  
広報紙「元氣かわら版」や地域ごとの通信発行、ホームページの掲載など
  - (6) 権利擁護サポート事業  
かけはし事業、成年後見制度による財産や金銭の管理、福祉サービスの利用手続支援など
  - (7) 地域の支え合い見守り活動の推進  
おたがいさまネットワーク事業や地域の支えあいづくりを考える集いなど、自治振興区等との協働による独居高齢者などを見守る仕組みづくり、及び地域内

## 平成26年度予算

(単位:千円)

| 収入の部             |         |
|------------------|---------|
| 介護保険事業収入         | 424,783 |
| 就労支援事業収入         | 1,048   |
| 障害者福祉サービス等事業収入   | 22,438  |
| 事業収入(補助・委託・助成金等) | 191,433 |
| 会費収入             | 8,313   |
| 一般寄付金収入          | 12,460  |
| おでかけ協力寄付金収入      | 1,650   |
| 共同募金配分金収入        | 7,938   |
| その他収入            | 13,113  |
| 前期末支払資金残高        | 95,000  |
| 合 計              | 778,176 |

| 支出の部      |         |
|-----------|---------|
| 人件費       | 493,342 |
| 事業費       | 74,575  |
| 事務費       | 103,205 |
| その他支出     | 10,238  |
| 当期末支払資金残高 | 96,816  |
| 合 計       | 778,176 |

での福祉活動啓発など

(8) 学校・地域等の活動応援事業  
福祉教育指定協力校事業、福祉団体・グループ等への活動助成など

(9) 生活困窮者自立支援事業(新規)  
生活困窮者の自立に向けた相談支援や、自立・就労支援等体制の構築など

(10) 地域包括ケア推進事業  
住み慣れた地域で安心して生活が継続できるよう包括的な支援・提供体制づくりなど

(11) 資金貸付事業  
緊急生活安定資金貸付事業、生活福祉資金貸付事業

### 3. 在宅福祉事業

(1) 外出支援事業  
おでかけ応援隊事業・こまわりくん事業  
福祉専用車両による外出支援活動及び過疎地有償運送による総領地域限定の生活支援活動など

(2) 日常生活支援事業  
やまびこ365事業、生活福祉べんり品事業、配食事業、寝具類等乾燥消毒サービス事業、老人介護支援センター

事業など

(3) 障がい者支援事業  
要約筆記者養成事業(新規をはじめ、各地域で障がい者の日常生活を支援する事業)

(4) 当事者等支援事業  
在宅介護者支援事業(定例会・リフレッシュー)、おせちお届け隊事業、男性介護教室、ふれあいコール事業、グッバイ・ひきこもり事業、ふれあい便り、認知症相談会事業など

### 4. 介護事業(自立支援事業含む)

(1) 介護保険事業  
訪問介護事業(介護予防・障がい者居宅支援事業含む)、訪問入浴介護事業、通所介護事業、居宅介護支援事業、福祉用具貸与事業

(2) 介護予防事業  
運動機能の向上及び閉じこもり等の予防など

特定高齢者介護予防事業(新規)  
おやじの集い事業、高野山分校事業、中高年男性生きがいの会、介護予防事業「あゆみ会」など



# 地域の支えあいづくりを考える集い 口和会場 (三月一日(土) 口和自治振興センター)

口和町(ふるさと)を大切に思っていますか?住んでいてよかったと感じていますか?子ども達が誇れるふるさとですか?私たちの口和がもっとと素敵になるために、今自分でできること、地域でできることを一緒に考えました。

## 地域とともにある学校づくり



庄原市立口和中学校  
校長  
瀬尾 匠史氏

口和中学校では、神楽・田楽・踊りなどの文化の継承や、社会参画、職場体験活動の他、「人と人」「地域と学校」「学校と学校」「知識と知識」の「4つのつながり」を目指して0歳から高齢者までを「つながり」学校づくりを行っている。

また、「魅力ある学校づくり口和地区連絡協議会」の設立により、学校と地域団体等とのつながりも更に強化された。

これからも地域とともにある学校づくりを目指し、自立と共生の力をもち、地域社会に貢献できる生徒の育成を行なっていきたい。

## ふるさと応援会員としての思い



口和町湯木出身  
田中 博吉氏

ふるさと応援会員に入会后、社協や自治振興区からの便りで、口和の実態や、両親が様々な方にお世話になっている現実を知った。

そして、高齢者を支える支援制度の必要性を痛感した。地域を支え、両親もお世話になっている地域の方々に感謝し、微力を尽くすことは責務ではないかと思う。地域や介護事業者任せで済ませるのではなく、子世代が力を合わせて見守りの輪を広げ、遠方においてもできることを探し、関わろうとする気持ちが、地域を元気づける一歩になる。この制度は、近い将来どの地域でも起こりうる

限界に立ち向かう試金石となる。この輪を是非広げていきましょう。

## 県内の高齢者等の見守り活動状況



広島県社会福祉協議会  
地域福祉課  
主任  
河内 広行氏

県内には緊急時、すぐに必要物品が持ち運べる箱の配布、必要な情報をペットボトルに入れ、冷蔵庫に保管する命の宝箱、朝起きたらタオルを見えやすい所に下げ、夕方に取り込むオレシタール、一人暮らしの高齢者にパンやケーキを配る等、様々な見守り活動がある。今日の発表やそれらの取組みから見えてくることは「自分でできること」「少しの思いやり」「つながり」「声をあげられない人への配慮」の大切さ。

初めの一歩は、ほんの小さなことかもしれない。しかし、この積み重ねを、いつか大きな力に変えたい。あたり前のことに日々感謝することを忘れず、この意識を持ち続けていきたい。



「あたり前のことに感謝」  
口和中学校 1年  
藤山 尚弥さん



「できるようになるうれしさ」  
口和中学校 1年  
今井 麗奈さん

最初は出来なかったことができるようになるということは、とても嬉しく達成感がある。みなさんも前向きに挑戦して、できるようになった時のうれしさや達成感を味わってみませんか。



# 地域の支えあいづくりを考える集い 比和会場 「三月十五日(土) 比和自治振興センター」

この集いで自分自身、家族、地域が何をすべきか、もう一度見つめ直してみませんか? 「住み慣れた比和で長く暮らす」ために、みんなで一緒に考えました。

## いつまでも我が家で暮らす為には



比和地域  
包括支援センター  
専門員  
加藤智恵子氏

現在の比和は、少し認知症になっても、どうにか一人暮らしができる地域です。それは、各関係機関が最先端の連携と、家族以外のたくさんの知り合いの方の支えがあるからです。しかし、10年後はどうでしょう。「10年後、どうせワシはおらんけえ関係ない」ではダメです。それを残すには、今から考えなければいけません。合わせて、自分がどこに住みたいか、生きていきたいか、最後を決めるのは本人であり、家族です。保健、福祉、医療、介護や地域独自の支え合い等の連携、地域づくりが包括

ケアだと思っています。年を取ることは決して悪い事ではありません。地域と繋がりながら長生きをする。この集いはそれを考える始まりの場です。これからのことを地域に帰って話をしてほしいと思います。

## 比和自治振興区の取り組み



比和自治振興区  
地域活性化部長  
奥田 順紀氏

高齢者が安心、安全で暮らせる地域づくりの中で、緊急連絡板を作成したことがゴールではなく、サロンや隣近所話をしたり、見守り活動の入り口として利用してもらうためです。一人一人が意識するだけでも随分違ってくるのではないのでしょうか。

また、見守り対象者だこちら側が勝手に決めつけず、「その人の生きがい」をいかに作っていくか。得意ワザをいかに地域活動に連結していくのか。も大切な活動の一つです。守り(見守り)と攻め(生きがいづくり)

の活動をバランス良く進めて行きたいと思っています。

## 自分たちができることから始めよう



KFG 耕楽  
渡邊 耕三氏

現在の古頃地域は、耕作放棄地が多数あります。2年前、「朝起きたら、草ボウボウを見るのが寂しい」という声があり、自分たちでお金を出し合って耕作放棄地を整備したのが活動の始まりでした。

地域を主としたローカルコミュニティと、目標を主としたテーマコミュニティがあります。古頃地域の耕作放棄地の整備」という両方を一緒にした活動をしています。

しかし自分たちもいつまでこの活動を続けられるか分かりませんが、比和でどのように生活していくか、どこで自分たちの最後を迎えるかなど、様々な問題を耕楽の活動を通して模索していけたらと思います。



「打倒、過疎!」  
比和中学校 3年  
井西 みぎさん

典型的な過疎の町ですが、誇れるものはたくさんあります。私の力は小さいけれど、過疎を打ち破る起爆剤になれるよう、力を蓄えていきたいです。



「大嫌いと大好き」  
比和中学校 2年  
倉岡 廉弥さん

比和中学校では、合唱に力を入れて取り組んでいます。僕は勉強は嫌いだけど、合唱は大好きです。今年のたなばたまつりでは、レベルアップした僕たちの合唱を披露したいと思っています。



「ふるさと」  
比和中学校 3年  
陶山 歩海さん

私の父は警察官で、色々な所へ引っ越しをしてきました。私が卒業して、この町を出て行っても「ふるさと」と思った比和町にいつか絶対戻ってこようと思います。

# ボランティアセンターって、 どんなところ？

「ボランティア活動してみたいけど、何からはじめたらいい？」「どんなボランティア活動があるの？」「私にもできること、手伝うよ！！」でも、いざはじめようと思ったら、どうしたらいいのか戸惑ったり不安に思ったりするかもしれません。



ボランティアセンターでは、ボランティアを必要とする方や団体・施設などの紹介や調整、また、ボランティア情報の提供や活動の支援をすることで、市民の皆さんの「何かしたい」という気持ちを応援しています。

また、「困った…」「助けてほしい」という方とボランティアをしたい方をつなぐことで、市民の皆さんと安心して暮らせる地域づくりに取り組みます。

## ボランティアセンターへ登録しませんか？

個人で登録する方法とグループで登録する方法の2通りあります。

登録すると…

### ① 活動の場の紹介

登録していただいた活動を必要としている方や団体、施設・地域等に紹介します。



### ② 広報誌やホームページで、活動紹介

社協の広報誌やホームページで、活動内容やイベントのPRができます。メンバー募集等にご利用ください。



### ③ 研修会・交流会のご案内

ボランティア講座や研修会、交流会のお知らせが届きます。様々な団体とつながり、活動を展開するチャンスです!!



### ④ ボランティアに関する情報の提供

ボランティアセンターから、ボランティアに関する情報が届きます。



各地域センターで受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせください。



## 庄原地域センター

0824-72-7120

### 自分にできること、 地域のみんなでできること

小地域サロンや自治振興区・自治会・班など地域の集まりで、“地域での見守り合い・支え合いについて”一緒に話し合いを行っています。

参加者からは、「今はまだ元気じゃけど、5年先、10年先はそうじゃないかもしれない」「若い世代が少ないこれからは、元気な高齢者が困った人を支えることも必要」「昔に比べ、隣近所の付き合いも薄れとる気がする。隣近所同士が、普段から気かけ合っとならば、もし何かあった時には“ちょっと助けてくれん？”と、すぐに相談できる。それって安心じゃの〜と改めて思ったよ」など、たくさんの意見や感想をいただきました。

“自分にできること、地域のみんなでできること”を、一緒に考えてみませんか？



## 西城地域センター

0824-82-2953

### 目標は1日1日を楽しく生きること

西城の活性化と地域の方の交流の場を作りたいと、地元の有志7名で企画実施されている「ヒバゴンのど自慢祭典」。出演予定の瀬尾さんから「のど自慢に参加するので車椅子を貸してもらえませんか」と連絡がありました。

瀬尾さんは、障がいがあっても自分にできる事は常に挑戦していきたいという思いを持っておられ、「私が舞台に立つことで、他の人が自分にもできることがあると思ってもらえたら嬉しいです。参加したことで、新たな人とのつながりもできました。来年はもっと上手に歌いたいと思っています。」と話してくださいました。

車椅子の貸し出しを通して、前向きに挑戦し続けたいという瀬尾さんのお手伝いできたこと嬉しく思いました。



## 東城地域センター

08477-2-0488

### 地域の情報盛りだくさん！

東城地域のふれあいサロン世話人交流会を開催しました。その中で、日頃の思いや悩み・支え合いの活動事例が紹介されました。



東城地域の中心部と山間部では生活環境が違ふこともあり「若い人が居る地域はいいな〜」「男性の役割や出番も多くある」「始まったばかりで、今日の交流会、とても参考になりました」「個々の交流会もしましょう」等々、多くの感想や気づきが出されました。



## 口和地域センター

0824-89-2320

### 介護者教室

社協のケアマネージャーを講師に、要介護認定の手続きや介護サービスの種類、住宅改修など、介護保険制度について勉強会を行いました。

「顔見知りの職員さんだったので、質問や介護相談がしやすかった」「知らなかった事がたくさんあり、勉強になりました」

「制度がどんどん変わっていくから、新しい情報を教えてもらえるのはありがたい」と、心身の元気の回復や、知識、技術の向上がはかれたようです。福祉に関心のある方なら、どなたでも参加いただけます。是非一度おいでください。







## 高野地域センター

0824-86-3044



### 巻き寿司もみんなの心も長く一つに繋がりました

高野小学校6年21名が、小学校生活最後の「思い出」のひとつとなる「長巻き寿司づくり」に挑戦しました。

今年度も、「笑話サロン」(上里原)のみなさんが、準備をしてくださり、21名と担任の先生の22名が気持ちを一つに集中、「準備はいい?セーの」の声で巻き寿司をくるり。

記録はなんと15m。「それぞれの素材の味がよくわかり美味しかった」福祉教育で社協や福祉センターの事を学び、お年寄りの人にとって福祉センターはなくてはならない大事な所、私は将来介護の仕事をしたいです。」と心強い挨拶をしてくれました。

そして、「笑話サロン」からは「みんなから、元気をもらいました。これからも仲良く頑張ってください。」と声を掛けられました。

21名が「太く」「長く」繋がる仲間であってほしいと願います。



## 比和地域センター

0824-85-2300



### 等身大のお雛様

3月5日、上町のふれあいサロンに本物のお内裏様とお雛様が三人官女を連れて来られました。見た事のあるような...聞いた事のあるような...姿や声でしたが、とりあえず「お雛様祭り」スタート!!比和保育所の園児達も来て、サロンの方々と手遊びをしながら楽しく交流し、地域の方、園児達、多少野太い(?)お雛様の声が集会所いっばいに広がりました。

季節ごとの行事をうまく取り入れながら、地域のみんなでおもしろおかしく繋がりを作られています。自分たちでメリハリを付けながら開催されているのが、長続きのコツかもしれませんね。



## 総領地域センター

0824-88-2796



### ふれあい、そして私たちにできること

総領小学校5年生(18名)がひょうたん茶屋を訪れ、地域の皆さんとの交流を行いました。

当日は手作りのコースターと造花にメッセージを添えて一人ひとりに手渡したあと、児童が考えたゲームで地域の皆さんを「おもてなし」しました。

後日、小学校にて『総領町の福祉について』話す機会をいただき、福祉サービスの紹介や「おたがい

さまネット」事業の地域の見守り活動について説明しました。また、加齢や障がいにより身体機能は低下しますが、元気な小学生には理解できない高齢者や障がい者の不便さなど、「疑似体験」の道具を使い体験することで気づくことがたくさんありました。子ども目線からの『福祉の町づくり』について、一緒に考えていきましょう!



## 「おたがいさまネット事業」 に取り組んでいます。

この事業は、ひとり暮らし高齢者や障がい者世帯等で支援を必要とする世帯に、見守りや買い物支援などを実施するものです。

各自治振興区を中心に、民生委員児童委員、ひとり暮らし高齢者等巡回相談員、老人クラブ等と協働して実施しています。

本年度も、継続して自治振興区と協働し事業を進めていきます。



## よろず相談 のご案内



### ○一般相談(13:30～16:00)

毎週水曜日 庄原地域センター

第1・第3木曜日 西城地域センター

東城地域センター

比和地域センター

第1・第3木曜日 □和地域センター

第1・第3水曜日 高野地域センター

第2・第4水曜日 総領地域センター(9:00～11:00)

### ○法律相談

※4月より、一部地域で法律相談の時間が変わります!  
(旧 13:00開始→新 4月から12:45 開始になります)

※予約制で一人の相談時間が30分以内です。

5月2日(金)・16日(金) 5月8日(木)

12:45～15:45 13:00～16:00

庄原市ふれあいセンター 東城ふれあいセンター

### ○多重債務相談

※予約制で一人の相談時間が45分以内です。

5月8日(木) 庄原市ふれあいセンター

※プライダルサポートセンター(結婚相談)は平成26年3月末をもって受付を終了させていただきました。

その他の相談にも応じています。  
お近くの地域センターにお問い合わせください。

## お知らせ

市民活動・お互い様の  
活動を応援します

## 「地域や団体の 福祉活動応援事業」 のご案内

地域の団体や民間福祉団体、グループが実施する、地域の福祉課題解決に向けたボランティア活動、交流事業、啓発事業等を応援するため、1事業(1団体)につき総事業費の2/3(ただし、上限3万円まで)を助成します。

**申請期間** 平成26年4月～9月末まで。

**予算** 共同募金配分金を財源に、事業費予算の範囲内とします。

**申請方法** 総合センターおよび各地域センターにある申請様式で申し込みください。  
事前に最寄りの地域センターにお問い合わせください。





## 故郷へ 貢献するために

●レポーター：庄原市川手町在住  
片岡 直輝さん

平成8年頃から、父の介護施設入所が決まり、ひとり暮らしの母のことが心配で毎月2回は、帰省していました。当時は、大竹市に住んでいたので帰省する都度、故郷の空気の良さや緑の美しさ、静かな環境に魅了されていました。

そしてついに、平成16年に庄原にUターンしました。以前は、地域に行事があると帰っていたので、近所の方々の顔と名前は分かりましたが、まだ多くの方の顔と名前が判らず苦労しました。

帰省後は、畑仕事、草刈り、庭木の剪定など慣れない仕事が多く、特に野菜作りは、JA発行の本に首っ丈。花と果樹・樹の剪定は、教本で学びながら、約50種の野菜・果樹をつくれるまでになりました。

退社時の社内報に「退社後は、故郷に帰り父母が世話になった地域に貢献する」と書き、地域への参加意欲は持っていました。

しかし帰省後の約1年は、父の介護等で地域と関わり合いを持つことはできませんでした。

平成17年の秋頃から、社会福祉協議会のボランティア活動に参加し、体育館での運動グループにも参加して、地域の方々との交流を図っています。平成18年からは自治会の役員を務め、甲代八幡神社の会計も6年勤めました。

昨年の夏から、母の入院・体調不良と妻の母の入院等でボランティア活動を休んでいましたが、また復帰して協力していくつもりでいます。



### 広告



司法書士 飯田 一生  
《広島司法書士会所属》

**一人で悩まないで  
まず相談してください。**

#### 業務のご案内

- 不動産の名義変更
- 成年後見
- 相続登記・遺言
- 会社の登記
- 借金の整理
- 簡易裁判所訴訟代理等

●詳しくはホームページに書いています。

庄原 司法書士

検索

広島北部司法事務所（訴訟代理権認定第524014号）（司法書士登録番号828号）  
〒727-0013 広島県庄原市西本町四丁目20番17号 パルナシユB2階 TEL0824-72-2315（要予約）

### 広告

**四国八十八ヶ所霊場めぐり日帰りコース**

- 5月11日(日)ー48番〜53番札所 ￥9,980
- 6月1日(日)ー54番〜59番札所 ￥9,980
- 7月6日(日)ー60番〜64番札所 ￥9,980
- 8月3日(日)ー65番〜70番札所 ￥9,980
- 9月7日(日)ー71番〜78番札所 ￥9,980

備北交通では庄原発着で巡拝実施しています。  
初めての方、何回が行かれた方  
夫婦・友人・一人でも  
参加してみませんか？

10月以降毎月1回実施しています。一年間で八十八ヶ所霊場を巡拝するように計画しています。  
その他、備北交通ではまごころツアーとし各月多数の日帰りツアー、宿泊・国内海外旅行等取扱っています。

お問い合わせ 広島県知事登録旅行業第2-380号

**備北交通株式会社**

（営業時間）月曜日～金曜日9:00～18:00 ※祝祭日を除く

申込先

（庄原）〒727-0011 庄原市東本町三丁目11番16号

TEL (0824) 72-7440

総合旅行業務取扱管理者 森久 昭博 FAX (0824) 72-0610



**社協だより**

●発行日：平成26年4月20日 ●発行：社会福祉法人 庄原市社会福祉協議会 庄原市西本町四丁目5番26号

●TEL0824-72-7120 ●FAX0824-75-0084 ●E-mail:info@shakyoshobara-city.or.jp ●印刷：平和印刷株式会社